



▲吉名地域



▲宿根地域



▲二窓地域

天まで届け！地域の願い ～各地で開催 神明祭～

1月から2月にかけて、市内各地で、神明祭が行われました。

2月10日に行われた宿根地域の神明祭では、早朝から、地域のみなさんが準備に取り掛かり、豚汁やおむすびなどが振る舞われまし
た。世代を超えて仲の良いみなさん。笑顔がとても印象的でした。

二窓地域では、2月10日、地域の人や観光客など約800人が参加し、1年の無病息災を祈りました。約60人で神明さんを動かすと、会場から歓声が沸き起こりました。暗闇の中で燃やされた神明さんは、まさに圧巻。「今年もようやったわ」と笑いながら話すみなさんは、とてもすがすがしい表情でした。

また、2月24日には、吉名地域で神明祭が行われました。ビンゴゲームやバザーなども同時開催され、わきあいあいとした雰囲気の中、神明さんが燃やされました。晴天にも恵まれ、「晴れてよかったです」と、参加したみなさんは安堵の表情を浮かべていました。

地域の個性輝く神明祭。みなさんのパワーに脱帽です。



めざせ！プロゴルファー

～スナッグゴルフ in 竹原小学校～

2月19日、竹原小学校で、プロゴルファーの原満さんによる講演と、スナッグゴルフが行われました。

竹原小学校出身の原さんは、大きな夢に向かって努力することの大切さを児童に語りました。

講演終了後、3年生42人が、原さんと共に「スナッグゴルフ」を楽しみました。原さんがショットを打つと、児童たちからは、「うまい！」という歓声が起こりました。3年生の岡田海優さんは、「力の入れ具合が難しかったけれど、楽しかったです。またやってみたい。」と、感想を話してくれました。



マシッソヨ～♪本場韓国の味

～韓国料理教室～

2月24日、大井公民館で、竹原市国際交流協会による韓国料理教室が行われました。日本に在住して22年の韓国人講師、イ ウォンエさんによる指導のもと、21人の参加者が、韓国の伝統料理であるサムゲタンと、チヂミ、カクテキを作りました。

参加者からは、「こんなに本格的な韓国料理は初めて」、「野菜の皮も全て使っていて、無駄なくおいしい」といった感想が聞かれました。「マシッソヨ（おいしい）」と、韓国語もあちらこちらで聞かれ、国境を超えた交流を楽しみました。



地域が団結！ 文化財を守る

1月26日、新庄町の横大道古墳群で、文化財防火訓練が行われました。地域のみなさんや消防団員など、約50人が参加。本番さながらの緊張感のもと、いざというときに郷土の大切な文化財を守れるよう、初期消火訓練や放水を行いました。



体育館で本物のオペラを体験！

2月7日、荘野小学校で、文化庁が行う「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として「(財)オペラアーツ振興財団」がオペラ「カルメン」を公演し、荘野小学校と東野小学校の児童が鑑賞しました。劇中で、荘野小学校の5・6年生9人が衣装を着て出演する場面もあり、演技を披露しました。

出演した6年生の信川晃輝くんは、「緊張したけど、めいっばいの笑顔を出した。」と話してくれました。また、大垣翔くんは、「堂々とした演技で感動した。」と感想を話してくれました。

公演の最後は、観客のみなさんから出演者に、ブラボーの歓声と温かい拍手が送られました。



プロのコーチと楽しくサッカー

2月9日、バンブー公園の体育館で、広島広域都市圏協議会によるサッカー教室が開催されました。5歳から小学2年生までの子どもと保護者が参加し、サンフレッチェのコーチによる指導のもと、ボールを使ったミニゲームなどを行いました。子ども対大人のゲームでは見事子どもチームが勝利！息を切らしてボールを追いかける姿は、大人顔負けでした。

「ことばの輝き」受賞者発表

1月31日、広島市まちづくり市民交流プラザで、『「ことばの輝き」優秀作品コンクール』の表彰式が開催され、荘野小学校1年の沖野未歩さんが最優秀賞を受賞しました。沖野さんは、「おおきくなったとまと」という作品で、トマトの栽培・収穫の様子を豊かに表現しました。



みんなで守ろう 公共交通のマナー

2月4日、バンブー公園で、バスの乗り方・バリアフリー教室が開催され、大乗小学校3、4年生の児童が、体験学習や内輪差の実験、高齢者擬似体験などを通じて交通マナーを学びました。児童からは、「バスに乗る時は、高齢者に席を譲ろうと思った」といった感想が聞かれました。



がんばれ！就職活動

2月21日、たけはら美術館文化創造ホールで、就職ガイダンスが開催されました。第5回目を迎えた今年、市内等の25事業所が参加し、就職を希望する62人が説明や面接を受けました。みなさんの雇用・就職を応援しています。

